

「新しい生活様式」を踏まえた今後のまちづくりについて（案）

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛が長引く中、多くの地域活動が休止となり、地域コミュニティの衰退や高齢者等の孤立、子育て世代や子どもたちの見守り・支援の停滞など様々な課題が発生しています。

感染予防を徹底すればするほど、見守り・居場所づくり・つながりづくりがうまく進まない、再開できないといった現状があります。

～どんなときでもつながり続けるために～

このような状況であっても、新型コロナウイルスとうまく付き合いながら、地域でのつながりが途切れることなく、お互いに支え合い、地域コミュニティの再生・活性化を図るために、「新しい生活様式」を踏まえた今後のまちづくりについて、皆様と一緒に考え、取組めます。

～今後のまちづくりに必要なもの・取組みとは？～

LINE や zoom などのオンライン通信アプリを活用した、新しいカタチでの地域活動の推進

- ・役員会議等のオンライン化（テレビ会議等の導入） ☞ 集まらなくてもつながる仕組み
- ・SNS を活用した地域団体間のネットワークの構築 ☞ // ・役員の負担軽減
- ・電子回覧板の導入 ☞ 多世代へ向けた地域情報の発信・共有、地域活動への参加促進

「新しい生活様式」を取り入れた活動の見直し・再開

- ・活動目的の再確認と活動内容の見直し ☞ 感染リスクを回避しながらより効果的に運営
- ・再びやってくるであろう感染拡大の波にも耐えられるよう活動内容の見直し
☞ 自宅でも簡単にできる体操教室や高齢者向けスマホ講座の開催など

自助・共助と合わせた近助（となり近所の助け合い）の推進

- ・外出自粛中の見守りや災害時の安否確認・支え合いにはより身近な近助のチカラが必要
☞ 有事の際の近助には、日常からの挨拶・声かけ・交流が大事
- ☞ 近助を意識した地域活動の見直し（子ども～子育て世代～高齢者の多世代交流など）
- ☞ 地元企業・商店等とも連携した取組み（デリバリーの活用等）の推進

～皆様のご意見をお聞かせください～